



環境活動 レポート エコアクション 21

令和4年7月30日

自然豊かな環境を守りましょう。

対象期間 令和3年6月1日—令和4年5月31日

川窪建設株式会社





1-1. 事業内容

1. 事業所名及び代表者名

川窪建設株式会社
代表取締役 川窪 勇起男

2. 所在地

本社：長野県松本市桐三丁目 1 番 14 号
TEL (0263) 34-1010 FAX(0263) 33-7049

3. 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 川窪 勇起男
環境事務局 佐藤 公子

4. 事業内容

建設業（建築工事業、土木工事業、大工工事業、とび・土工工事業、屋根工事業
管工事業、舗装工事業、塗装工事業、防水工事業、水道施設工事業、解体工事業）

5. 事業規模

設 立 昭和 33 年 8 月 28 日
資 本 金 2,000 万円
本社床面積 109.41 m²
従 業 員 9 名

6. 認証登録範囲

すべての事業、すべての組織を対象とします。

7. 活動内容

- ・SDGs 推進企業登録
- ・長野県産業廃棄物 3R 実践協定
- ・健康経営優良法人認定
- ・eco オフィスまつもと
- ・BCP 災害時の基礎的事業継続力認定
- ・残さず食べよう推進運動
- ・松本ゼミナール・コンソーシアム会員
- ・エコアクション 21
- ・社員の子育て応援宣言
- ・長野県・松本市 との災害協定
- ・松本市災害時サポート事業
- ・社会保険加入促進宣言企業

7. HP アドレス

<https://www.kawakuboken.com>

8. 資格

- | | | | |
|---------------|-----|-----------------|-----|
| ・ 1 級建築士 | 2 名 | ・ 2 級建築士 | 2 名 |
| ・ 1 級建築施工管理技士 | 3 名 | ・ 2 級工事施工管理技士 | 1 名 |
| ・ 1 級土木施工管理技士 | 1 名 | ・ 宅地建物取引主任者 | 1 名 |
| ・ 2 級土木施工管理技士 | 1 名 | ・ 福祉住環境コーディネーター | 1 名 |



1-2. 環境経営方針

基本理念

川窪建設株式会社は建設業を通して地域社会、すなわち地球環境への責任を理解し、学習し、貢献することの大切さを真摯に受け止めます。

社員一人一人が環境問題を意識し、環境負荷の軽減に努めます。

行動計画

1. 二酸化炭素排出量の削減。（電気・車両燃料の使用量等）
2. 産業廃棄物の再使用・再生利用。
3. 水資源の削減。
4. 環境に配慮した材料の推進。
5. 環境に配慮した施工の取組、提案。
6. 化学物質の適正管理。

環境関連法規制等を遵守し、全従業員に周知すると共に協力会社にも協力を呼びかけます。

E A 2 1 を通して環境経営の継続的改善を実施します。

更新日 令和4年3月25日

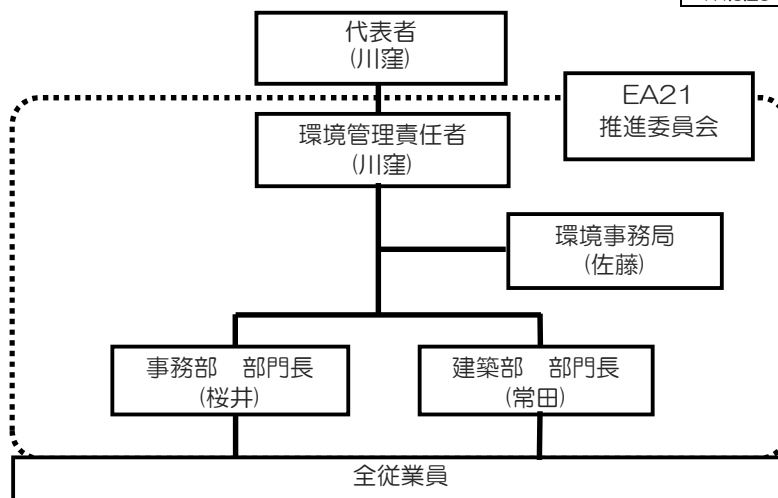
川窪建設株式会社

代表取締役 川窪 勇起男



1-3. 体制図

確認日	作成者	承認者
R4.3.25	事務局/佐藤	環境管理責任者/川窪



担当者	役割・責任・権限
代 表 者	- 環境経営に関する統括責任。 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 - 環境管理責任者と任命。 - 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知。 - 環境経営目標・環境経営活動計画書を承認。 - 代表者による全体の評価と見直しを実施。 - 環境経営活動レポートの承認。 - 年4回のEA21会議を行うこととする。
環 境 管 理 責 任 者	- 環境経営システムの構築、実施、管理。 - 環境経営方針の周知 - 環境関連法規等の取りまとめ標を承認。 - 従業員に対する教育訓練の実施 - 環境経営目標・環境経営活動計画書を確認。 - 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告。 - 環境経営活動レポートの確認。 - 年4回のEA21会議の調整と周知。
環境事務局	- 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 - 環境目標、環境経営活動計画書原案の作成。 - 環境経営活動の実績集計。 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成。 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 - 環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)。
部門長	- 自部門における環境経営システムの実施。 - 自部門に関連留守環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 - 特定された項目の手順書作成及び運用管理。 - 自部門の特定された緊急事態への対応の為の手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成。 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 - 各担当項目の実施状況を部門長に報告。 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。 - 可能な限りEA21会議に出席する。(どうしても調整出来ない場合は議事録を読む)
EA21 推進委員会	- 環境管理責任者、環境事務局、部門長2名の4名で構成。 - 社内または現場での活動目標・内容の決定と通知。 - 活動目標に対する実績の評価と報告。



1-4. 環境経営目標

確認日	作成者	承認者
R4.7.7	事務局/佐藤	環境管理責任者/川窪

社 内	R3 年		評価		(新) 基準値	R4 年	R5 年	R6 年	R7 年
	目標値	実績	目標値比%			目標 基準値-1.7%	目標 基準値-2%	目標 基準値-2.5%	目標 基準値-3%
電力 (Kwh)	8,923	9,080	1.76	×	9,059	8,904	8,877	8,832	8,787
一般廃棄物(Kg)	250	255	2	×	前年実績 253	前年実績 -1%	前年実績 -1%	前年実績 -1%	前年実績 -1%
水道水(m³)		68	監 視						
CO2 排出量合計 (kg-CO₂/kwh)	4,282	3,868	-9.66	○	4,348	4,274	4,261	4,239	4,242

現 場	R3 年		評価		(新) 基準値	R4 年	R5 年	R6 年	R7 年
	目標値	実績	目標値比%			目標 基準値-1.7%	目標 基準値-2%	目標 基準値-2.5%	目標 基準値-3%
電力(Kwh)	14,522	5,266	-63.7	○	14,744	14,493	14,449	14,375	14,301
ガソリン(L)	3,984	6,077	52.5	×	4,045	3,976	3,964	3,943	3,923
軽油(L)	606	505	-16.6	○	616	605	603	600	597
灯油(L)	1,441	252	-82.5	○	1,463	1,438	1,433	1,426	1,419
水道水(m³)		30	監 視						
産業廃棄物 再資源化率(%) (再資源化量 t)	88.5% (71.61)	79.7% (158.63)	-9.9	×	前年実績 67.9% (70.21)	前年実績 +2%	前年実績 +2%	前年実績 +2%	前年実績 +2%
						81.6%			
CO2 排出量合計 (kg-CO₂/kwh)	25,960	18,270	-29.6	○	26,356	25,907	25,828	25,697	25,565

CO2 排出量総合計 (会社+現場)	30,242	22,138	-26.8	○	-	30,181	30,089	29,936	29,807
-----------------------	--------	--------	-------	---	---	--------	--------	--------	--------

グリーン購入	グリーン購入拡大（エコマークがあるものを積極的に購入する。）
化学物質	適正管理（直接の取り扱いが無いが、扱う業者に適正管理を指示する。）

※産業廃棄物量は H30 499 t R1 326 t R2 138 t

※新基準値 H29、H30、R1 の3年間の平均値

※中部電力調整後排出係数29年度 排出係数 0.000480 (t-Co₂/Kwh)



1-5. 環境経営活動計画

取組項目		目標値	活動内容	責任者	活動期間	活動の確認(3ヶ月ごと)			
						○：よくできている	△：一部できていない	×：できていない	
			社 内			6 8	9 11	12 2	3 5
二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減	8,923 (Kwh)	* 温度管理・チェックをこまめにする。	事務局(佐藤)	上記1年間	○	△	○	△
			* こまめに消灯。(昼休みは食事する部屋以外消灯)	事務局(佐藤)	〃	○	○	○	○
			* ITの設定温度 冷房26° ～28° クールビズ	事務局(佐藤)	6月-9月	○	○	-	○
			* 暖房18° ～20° ウォーミング	事務局(佐藤)	10月-5月	-	○	○	○
			* PCをつけっぱなしにしない。	事務局(佐藤)	上記1年間	○	○	○	△
			* PCを省エネ設定にする。	事務局(佐藤)	〃	○	○	○	○
			* 事務所内では暖かい/涼しい服装をする。	事務局(佐藤)	10月-5月	○	○	○	○
			* 温度管理・チェックをこまめにする。	事務局(佐藤)	上記1年間	○	△	○	○
一般廃棄物の削減		250 (Kg)	* 両面コピー、裏紙の使用をする。	事務局(桜井)	〃	△	○	○	○
			* A1・2・3図面を切ってA4にして再利用。	事務局(佐藤)	〃	○	○	○	○
			* 電子媒体を使い紙の削減をする。PC共有機能の活用。	事務局(佐藤)	〃	○	○	○	○
			* ミスプリを減らす為プレビュー画面でチェックする。	事務局(佐藤)	〃	△	○	○	△
			* チェック用は裏紙使用。	事務局(佐藤)	〃	○	○	○	○
			* 段ボール等リサイクル業者へ持って行く。	事務局(桜井)	〃	○	○	△	○
			* 廃棄物の計測。	事務局(佐藤)	〃	○	○	○	○
			* エコバックを多用する。	事務局(桜井)	〃	○	○	○	○
			* 出来るだけお弁当持参する。(食べきれる量)	事務局(桜井)	〃	○	○	○	○
水の削減	監視		* 水の出を細めにする。	事務局(佐藤)	〃	△	○	○	○
			* 出しっぱなしにしない。	事務局(佐藤)	〃	○	○	○	○
グリーン購入の推進			* グリーン商品を選ぶ。	事務局(佐藤)	〃	○	○	○	○
			* 詰め替え商品のある商品を選ぶ。	事務局(佐藤)	〃	○	○	○	○
活動期間			評 価	対応策					
6月～8月			暑い夏ですが、エアコンの温度管理はきちんとできている。 入札・契約物件が重なり書類作成が増えて紙の減量について意識が薄くなってしまった。	時間に余裕があるときは意識を高めにする。 互いに手助けをし声を掛け合うようにする。					
9月～11月			ほぼ実施できている。。季節もいい時期なので、温度計の管理を忘れがちになる。	意識向上に努める。					
12月～2月			今期の冬は寒く、雪も多く、暖房を付けている時間が長かったように思います。	温度管理をこまめにする。					
3月～5月			3月に複合機を新しくしたので、使い方が分からずに、ミスプリ等が多かった。	ミスプリに気を付ける。早く新しい操作に慣れましょう。					



取組項目	目標値	活動内容	責任者	活動期間	活動の確認(3ヶ月ごと)			
					○：よくできている △：一部できていない ×：できていない			
		現 場			6-8	9-11	12-2	3-5
二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減 14,522 (Kwh)	* こまめに消灯。	各代理人	上記1年間	○	○	△	○
		* PCをつけっぱなしにしない。	各代理人	上記1年間	△	△	○	○
		* PCを省エネ設定にする。	各代理人	上記1年間	○	○	○	○
		* エアコンの設定温度 冷房26° ~28° 暖房18° ~20° (事務所)	各代理人	上記1年間	○	○	○	○
		* エアコンの設定温度 冷房18° ~23° 暖房20° ~23° (作業員用休憩室)	各代理人	上記1年間	△	○	○	○
	ガソリンの削減 3,984 (L)	* 現場までの移動距離を短く。	各代理人	上記1年間	○	○	○	○
		* こまめにエンジンを切る。	各代理人	上記1年間	○	○	△	○
		* 無駄な荷物を乗せたまま車を走らせない。	各代理人	上記1年間	○	○	—	—
		* タイヤ空気圧等点検を行う。	各代理人	上記1年間	—	—	—	○
		* 空ぶかし・急発進等エコドライブに努める。	各代理人	上記1年間	○	○	○	○
	灯油 1441 (L)	* 冬は養生をしっかりと削減に努める	各代理人	上記1年間	—	—	○	○
水道水	監視	* 出しっぱなしにしない。 * 水の出・止をこまめにする。	各代理人	上記1年間	△	○	○	○
廃棄物資源化・適正管理	88.5 (%)	* 資材は少なめに入れて調整する。 * 余った資材は業者に引き上げてもらう。 * 分別をしっかりとする。 * マニフェストの管理。	各代理人	上記1年間	○	○	○	○
化学物質の適正管理		* 資格者の選任。 * 業者への適正保管の指示。	各代理人	上記1年間	○	○	○	○
安全施設の導入		* 照明・チューブライト・灯光器	各代理人	上記1年間	○	○	○	○
協力会社への教育		* 新規入場者教育の資料作成。*新規入場者への教育実施。(共同作業のお願い)	各代理人	上記1年間	○	○	○	○
工事現場の環境配慮		* 化学物質取扱いの注意指導 4件 (R4.7月現在) * 現場までの乗り合い、最短距離の提案 5件 (R4.7月現在) * 資材の搬入時に不要梱包をなくすことを提案 5件 (R4.7月現在)	各代理人	上記2年間	○	○	○	○
活動期間	評 価			対応策				
6月～8月	大きな工事が始まりバタバタとしていた時期。暑さとコロナ対策で、換気をしながらの冷房（熱中症対策）は難しさもありました。			業者さんが勝手に温度を変えられないように注意喚起をする。意識向上をする。				
9月～11月	現場も落ち着き、改めて環境についての注意喚起(座席に分別等)を行いました。			意識向上ができました。				
12月～2月	コロナ対策としての換気と暖房を両立するために、温かい服装や工夫をお願いしました。			意識向上ができました。				
3月～5月	大きな現場は全て終了し、小さな工事と書類作成の時期ですので、移動と事務所内での仕事が多くなりました。室内の温度管理、リサイクル、ガソリン節約等に意識が向いて良かったと感じました。			意識向上ができました。				

* 環境関連法規の遵守状況の確認。	環境管理責任者	上記1年間	○	○	○	○
* 環境教育の実施・取組状況の確認。	各代理人	上記1年間	○	○	○	○
* エコアクション21推進委員会 年に4回	事務局(佐藤)	4回/年	○	○	○	○

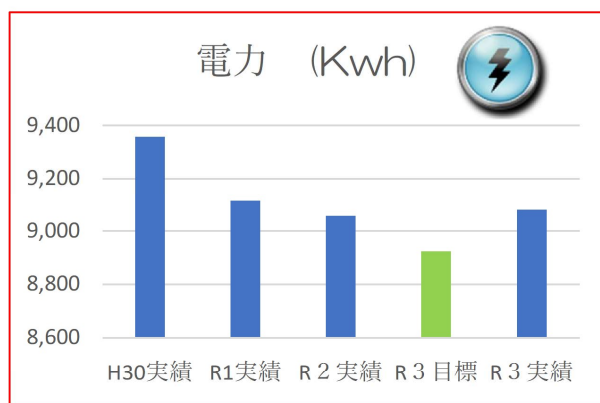


1-6. 1 年間の取組状況と評価

確認日	作成者	承認者
R4.7.28	事務局/佐藤	環境管理責任者/川窪

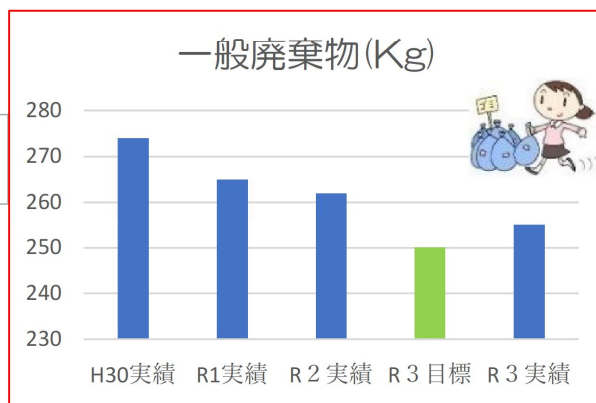
1.)実績の推移と評価

社 内	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 目標	R3 実績
電力 (Kwh)	9,357	9,113	9,057	8,923	9,080
一般廃棄物 (Kg)	274	265	262	250	255
水道水 (m ³)	73	90	87	監視	68
CO2 排出量合計 (kg-CO2/kwh)	4,491	4,374	4,687	4,282	3,868

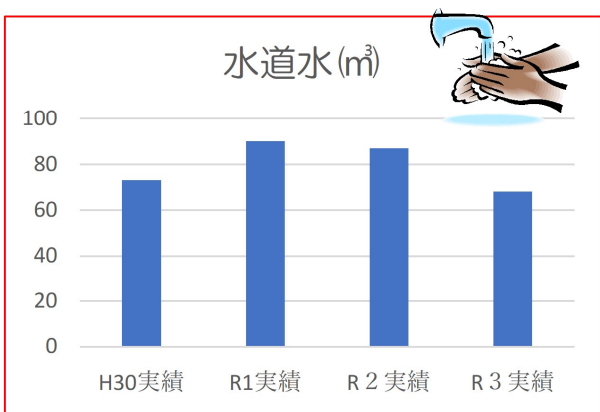


電力：昨年（令和2年）よりは多少ふえましたが、令和1年からほぼ横ばいの状況です。目標通りに抑えたいと思いますが、大きな削減は難しいかもしれません。引き続き、各自、節電を心がけましょう。

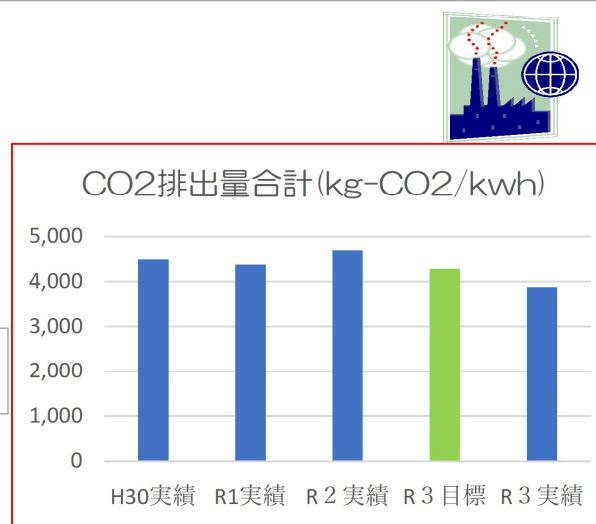
一般廃棄物：順調に少しずつですが、減量できています。引き続き減らす努力をしたいと思います。



水道水：緩やかですが、削減は出来ています。無駄遣いしないよう心がけましょう。

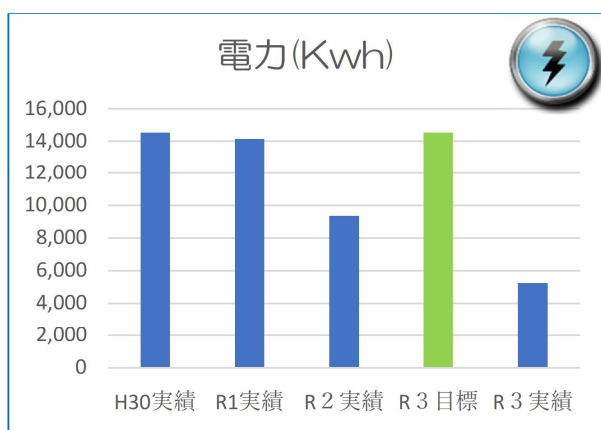


Co2 排出量：昨年（令和2年）より、目標よりも多少ですが、削減できました。



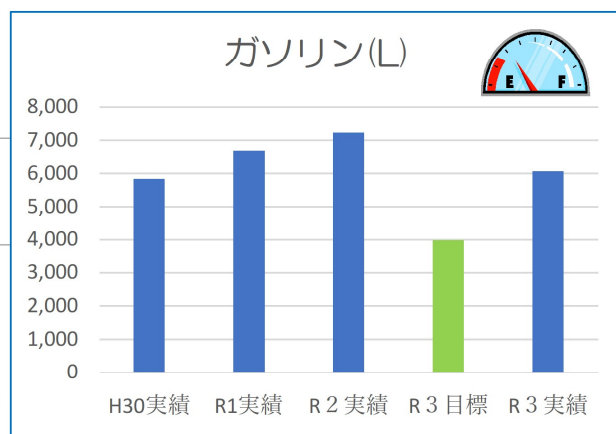


現 場	H30 実績	R1 実績	R2実績	R3目標	R3実績
電力(Kwh)	14,522	14,123	9,355	14,522	5,266
ガソリン(L)	5,836	6,682	7,228	3,984	6,077
軽油(L)	338	1,052	575	606	505
灯油(L)	442	1,388	54	1,441	252
水道水(m³)	110	184	16.95	監視	30
産業廃棄物 再資源化量(t)	446	261	70.21	71.61	158.63
産業廃棄物 再資源化率(%)	93.9	86.8	67.9	88.5	79.7
CO2 排出量合計(kg-CO2/kwh)	22,491	28,472	22,895	25,960	18,270

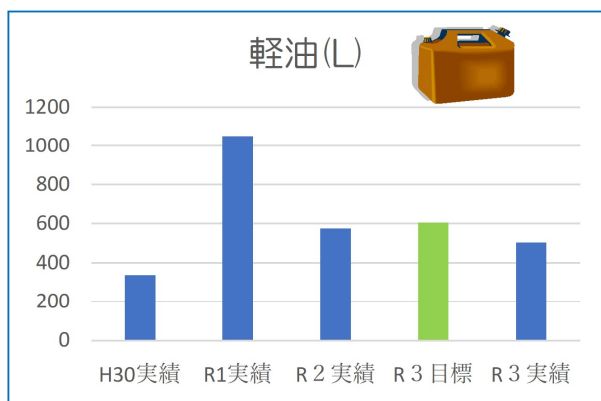


電力：昨年（令和２年）よりも、目標値よりも削減できました。無駄のないよう心掛けたいです。

ガソリン：無駄のないように心がけています。荷物を乗せたままでの移動、最短距離での移動に気を付けましょう。



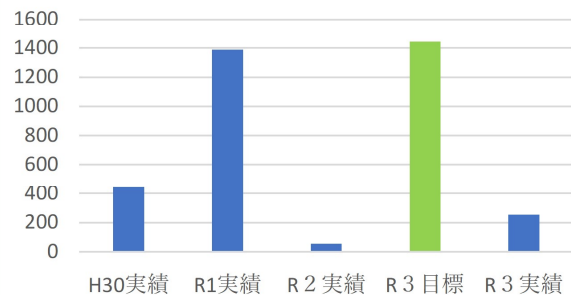
軽油：工事内容で左右されますが、取扱いと使用量に気を付けていきたいと思います。



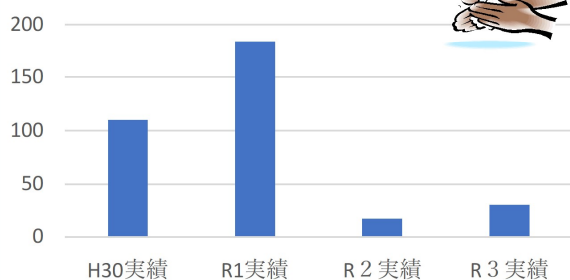


灯油：昨年（令和2年）は冬季の期間の工事が少なく、灯油もほとんど使用しませんでした。令和3年も灯油の使用量はおさえることができました。工事により大きく左右されますので、使用量と取扱いには気を付けましょう。

灯油(L)



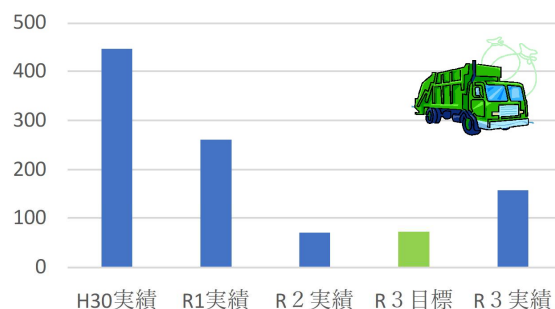
水道水(m³)



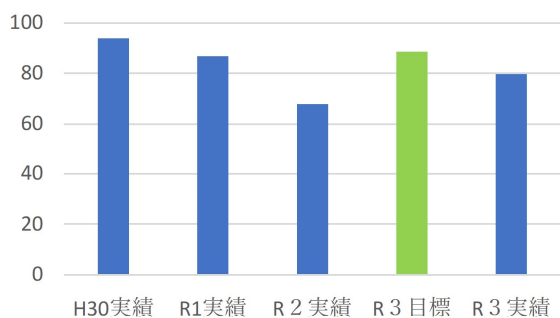
水道水：やはり現場が少ないと使用量も減ります。

産廃再資源化量：令和2年よりも、目標よりも増えました。

産業廃棄物 再資源化量(t)



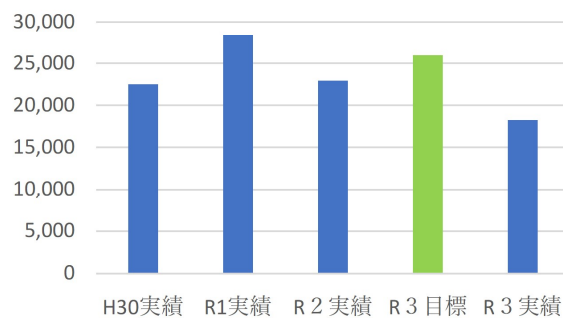
産業廃棄物 再資源化率(%)



再資源化率：令和2年よりも増えましたが、目標にはとどきませんでした。

CO₂排出量：令和2年よりも、目標よりも減らすことができました。

CO₂排出量合計(kg-CO₂/kwh)





2.)活動の総合評価

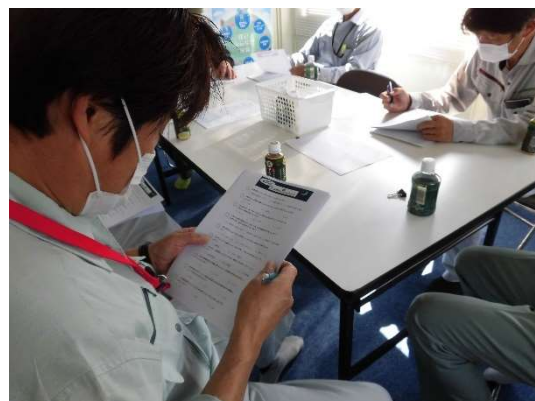
会社	二酸化炭素排出量削減	・コロナ過の中、換気をしつつ冷暖房を無駄なくするという難しい状況でした。こまめな温度管理と節電に心掛けます。
	一般廃棄物の削減	・リサイクル業者（百瀬商店）への段ボール、新聞、缶類をこまめに持っていきました。紙のリサイクルとしてはA1・A2・A3紙を切断し、A4裏紙として使用しました。 ・電子媒体の利用（共有フォルダーだけでなく、現場にいる場合はクラウドの活用も可）も進めていきます。
	グリーン購入の推進	・引き続き継続できています。 ・詰め替え商品を積極的に選んでいます。 ・商品購入の際もグリーン商品で検索し、探します。

現場	二酸化炭素排出量削減	・ガソリン以外全て目標値より下回り、結果二酸化炭素の排出も削減できました。
	産業廃棄物の適正管理 リサイクル率の向上	・必要ではない過剰梱包をなくし、資材は協力会社様に引き取って頂き、ゴミの削減に努めています。 ・マニフェスト票の管理もできています。
	化学物質の適正管理 安全施設の導入 協力会社への教育	・協力会社様が適正に化学物質（主に塗料）を管理するように指導しています。 ・環境活動の理解を深めて頂く為に、新規入場者教育、安全大会等の際にEPA21、eco オフィスの活動を伝えて、協力頂くようお願いをしております。



1-7. 環境教育・環境活動の様子

・協力会社を集めて環境教育 エコクイズ R3.8.26



8月26日 8名参加していただきました。皆さん、真剣に取り組んで頂きました。
10問のクイズで7問正解者1名・6問正解者4名・5問正解者2名・4問正解者1名でした。

開催日時	開催場所	
R3年8月26日(木) 14:00~15:00	田川小学校	
出席者	E A 2 1 説明 & クイズ	
	川窪建設(株):建築部 ■常田 健司 ■環境事務局 ■佐藤	
	清水口建設(株): ■中野定男氏 松沢ガラス: ■松澤大樹氏	
	(株)岩野商会: ■齋藤一幸氏 小川原塗装: ■寺嶋繁夫氏	
	野口シール工業: ■野口仁氏	
	(株)クサダ: ■金井勇樹氏 大同電気(株): ■小林正博氏	
作成者	川窪建設(株) 環境事務局 佐藤	
議題		結果・検討内容
1. ねらい		・ E A の環境活動と弊社の取組を理解して頂くために行います。 ・ 身近に環境活動を感じていただくために話だけでなく、クイズとして考えて頂く為におこないます。
2. 活動方法		・ 各協力業者様に集まって頂き、まずはエコアクションの説明をさせていただきます。 ・ その後、簡単なクイズをします。 - 正解回答数の多い順に粗品をさしあげます。
3. まとめ		・ みなさん、よくエコアクションを理解されていました。 ・ クイズは10問中 7問正解者 1名 6問正解者 4名 5問正解者 2名 4問正解者 1名



・灯油流出訓練 R3.10.25



吸着シートで吸い取ります。



環境活動についての説明。
・EA21 の活動について。
・灯油流出訓練について。
(手順を確認する)
(連絡先を確認する)



蓋つきポリバケツに入れます。

周囲に広がりがないことを確認する。



ご協力ありがとうございました



開催日時	開催場所	
R3年10月25日(月)	田川小学校	
14:30~15:15	EA 環境教育 灯油漏れ ごみ拾い	
出席者	川窪建設(株) 建築部 ■常田健司 ■環境事務局 ■佐藤	
協力業者	アパレルサービス: ■沼田芳宏 ■藤原 勉	
	(株)クサダ: ■金井勇樹	
作成者	川窪建設(株) 環境事務局 佐藤	
議題		結果・検討内容
1. ねらい		・EAの環境活動と弊社の取組を理解して頂くために行います。 ・緊急事態に対応できるよう、実際に訓練を行う。
2. 活動方法		・各協力業者様に集まって頂き、環境活動と訓練の説明を改めて行い、ゴミ拾いを行う。その後、灯油漏れの説明と訓練を行う。
3. まとめ		・訓練はスムーズに行われ、参加者の意識向上につながった。したがって、有効だと判断し、この内容で継続する。 ・油吸着マットを知らない方がいて、「これで油を吸着するのかー!」と感心していました。実際に手に取って「やってみる」は大切だと実感しました。



・現場周辺のごみ拾い R3.10.25



お忙しい中、ご協力頂きありがとうございました。

・産廃の様子・掲示の様子



拡大



環境経営方針・EA21 認定書の掲示



節電



節水



拡大

松本市立田川小学校トイレ改修主体工程

搬出量 (kg)	種類	搬出箇所	処分業者
27.4	混合	流水口建設所	流水口建設所
3.1	金属くず	流水口建設所	松本市内 300
29.4	がれき類	流水口建設所	松本市内 300-1
6.0	腐プラ	流水口建設所	松本市内 300-2
1.8	陶石瓦ボード	流水口建設所	松本市内 300-1

産廃量と処分先の掲示



・その他の環境活動



・会社駐車場での草刈り（R3.5・6・7月）と会社周辺のゴミ拾い活動。女鳥羽川沿いのごみ拾い活動の様子。R3.7.26



敷地内を透水性舗装へ施工。R3.7.28



会社西側に太陽熱給湯機を設置。R3.7.21



社内で集めたペットボトルキャップを松本市社協へ持参しました。R3.8.31



対抗性松（松枯れに強い）の植樹活動へ参加 R3.11.6



1-8. 環境関連法規制のとりまとめ及び遵守

遵守評価日	見直日	作成者	承認者
R4.3.25	R4.3.25	事務局/佐藤	環境管理責任者/川窪

当社に適用される法規制と遵守状況 注) ○:遵守 ×:不遵守 ✓:該当なし確認(一:判断なし)

関係法令名	要求事項	該当する設備・項目	判定
廃棄物処理法	- 産業廃棄物収集運搬・処理業者との委託契約。 - マニフェストの管理。 - 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出。 - 保管の基準に従う(掲示板、飛散や流出の防止等)。 - 特別管理産業廃棄物を生ずる場合は事業場ごとに特別産廃管理責任者を置く。	産業廃棄物	○
長野県廃棄物の適正な処理の確保に関する条例	- 排出した産廃に対する調査や確認。 - 産廃の処理について発注者から求められた場合、説明義務。 - 長野県産業廃棄物3R実践協定に基づき処理場の確認をする。		
建築基準法 (石綿対策を抜粋)	- 建築材料への石綿等の添加および添加した建築材料の使用禁止。 - 増改築における石綿除去を原則義務付け。 - 除去しない場合の規定と、封じ込めや囲い込の義務付け。 - 工作物についても建築物同様の規制を行う。	対象工事	○
建設リサイクル法	- 知事への届出 ・発注者への説明、報告。・リサイクルの推進 - 技術管理者の専任、標識の掲示。・アスベスト事前調査・対応	対象工事	○
省エネ法	2000㎡以上の建築物の新築、増改築及び大規模修繕の場合は届出。	対象工事	✓
フロン排出抑制法	建物解体工事の際に、業務用冷凍空調機器の設置の有無の確認、書面記載および施工主への説明。・業務用エアコンの簡易点検	業務用冷凍空調機器	○
騒音規制法	騒音の基準値内の遵守。	対象工事	○
振動規制法	振動の基準値内の遵守。	対象工事	○
大気汚染防止法	- 特定建設作業(特定粉塵等の排出)の届出。 - 作業基準の順守。	対象工事	○
オフロード法	基礎工事用機械の適合表示。	バックホ、ブルドーザー等	○
労働安全衛生法：石綿障害予防規則	- 解体の際の事前調査と作業計画、作業の届出。 - 呼吸用保護具、保護衣または作業衣の使用。 - 記録の保存(作業記録、作業環境測定記録、健康診断の結果)。	対象工事	○
劇物及び毒物取締法	- 盗難防止の措置 ・飛散、漏れ、流れ出し等を防止す措置。 - 事故時は応急処置後、警察署または消防署へ届出。 - 盗難、紛失の際は警察署に届出。	塗料、接着剤等で毒物劇物に該当するもの	○
水質汚濁防止法	事故により油を含む水が公共水域または地下に浸透し被害を生ずる恐れがある場合は応急措置、知事に届出。松本市の場合は松本市環境保全課へ。	油類	○
家電リサイクル法	家電製品(エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、から有用な部分や材料をリサイクルし、廃棄物を減量するとともに、資源の有効利用をします。	社内の冷蔵庫、TV	○
下水道法	使用開始時・変更時の届出。		○

上記の環境関連法規制について、環境管理責任者がチェックを行い違反の無いことを確認しました。

過去3年間に於いて関係機関からの指摘・指導項目はありません。同様に近隣からの苦情、訴訟もありませんでした。



1-9. 代表者の評価と見直し・指示

《評価と見直し》

引き続きコロナウイルスの影響を受ける中で、エコ活動とは相反する状況（換気、手洗い、等）の中でも、会社においても、現場においても、二酸化炭素の排出量を抑えるという目標を達成できたことは、社員ひとりひとりと協力会社の方々の努力のお陰だと高く評価しております。

《次年度に向けて》

現在の状況の中では大幅に数字を改善することは難しいと思いますが、地道に環境活動を行い、少しずつでも成果を上げるよう取り組んでいきたいと思っています。

現場における電気、ガソリン、灯油、軽油の使用量の削減、と産業廃棄物の再資源化率を上げるよう、各々が考え、行動することに重点を置き、また全体的に（会社+全ての現場）二酸化炭素の排出量の削減を目指します。

環境経営方針：基本理念 変更なし。

環境目標：変更なし。

環境経営活動計画：変更なし。

環境経営システム：変更なし。

令和4年7月30日

川 窪 建 設 株 式 会 社

代表取締役 川窪 勇起男



1-10. 令和4年度 環境経営活動計画 (R4.6.1~R5.5.31)

作成日	作成者	承認者
R4.7.15	事務局/佐藤	環境管理責任者/川窪

取組項目	目標値	活動内容	活動期間	責任者
社 内				
二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減 8,904 (Kwh)	* 温度管理・チェックをこまめにする。	上記1年間	事務局(佐藤)
		* こまめに消灯。(昼休みは食事する部屋以外消灯)	//	事務局(佐藤)
		* エアコンの設定温度 冷房26° ~28° クールビズ	6月-9月	事務局(佐藤)
		* 暖房18° ~20° ウォームビズ	10月-5月	事務局(佐藤)
		* PCをつけっぱなしにしない。	上記1年間	事務局(佐藤)
		* PCを省エネ設定にする。	//	事務局(佐藤)
		* 事務所内では暖かい/涼しい服装をする。	10月-5月	事務局(佐藤)
		* 温度管理・チェックをこまめにする。	上記1年間	事務局(佐藤)
一般廃棄物の削減	252 (Kg)	* 両面コピー、裏紙の使用をする。	//	事務局(桜井)
		* A1・2・3図面を切ってA4にして再利用。	//	事務局(佐藤)
		* 電子媒体を使い紙の削減をする。PC共有機能の活用。	//	事務局(佐藤)
		* ミスプリを減らす為プレビュー画面でチェックする。	//	事務局(佐藤)
		* チェック用は裏紙使用。	//	事務局(佐藤)
		* 段ボール等リサイクル業者へ持って行く。	//	事務局(桜井)
		* 廃棄物の計測。	//	事務局(佐藤)
		* エコバックを多用する。	//	事務局(桜井)
水の削減	監視 (m3)	* 出来るだけお弁当持参する。(食べきれる量)	//	事務局(桜井)
		* 水の出を細めにする。	//	事務局(佐藤)
グリーン購入の推進		* 出っぱなしにしない。	//	事務局(佐藤)
		* グリーン商品を選ぶ。	//	事務局(佐藤)
		* 詰め替え商品のある商品を選ぶ。	//	事務局(佐藤)

取組項目	目標値	活動内容	活動期間	責任者
現 場				
二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減 14,493 (Kwh)	* こまめに消灯。	上記1年間	各代理人
		* PCをつけっぱなしにしない。	上記1年間	各代理人
		* PCを省エネ設定にする。	上記1年間	各代理人
		* エアコンの設定温度 冷房26° ~28° 暖房18° ~20° (事務所)	上記1年間	各代理人
		* エアコンの設定温度 冷房18° ~23° 暖房20° ~23° (作業員用休憩室)	上記1年間	各代理人
	ガソリンの削減 3,976 (L)	* 現場までの移動距離を短く。	上記1年間	各代理人
		* こまめにエンジンを切る。	上記1年間	各代理人
		* 無駄な荷物を乗せたまま車を走らせない。	上記1年間	各代理人
		* タイヤ空気圧等点検を行う。	上記1年間	各代理人
		* 空ぶかし・急発進等エコドライブに努める。	上記1年間	各代理人
灯油	1438 (L)	* 冬は養生をしっかりとて削減に努める	上記1年間	各代理人
		* 出っぱなしにしない。	上記1年間	各代理人
水道水	監視	* 水の出・止をこまめにする。	上記1年間	各代理人
適正管理・資源化	81.60%	* 資材は少なめに入れて調整する。	上記1年間	各代理人
		* 余った資材は業者に引き上げてもらう。	上記1年間	各代理人
		* 分別をしっかりとる。	上記1年間	各代理人
		* マニフェストの管理。	上記1年間	各代理人
化学物質の適正管理		* 資格者の選任。	上記1年間	各代理人
		* 業者への適正保管の指示。	上記1年間	各代理人
安全施設の導入		* 照明・チューブライト・灯光器	上記1年間	各代理人
協力会社への教育		* 新規入場者教育の資料作成。* 新規入場者への教育実施。(共同作業のお願い)	上記1年間	各代理人
工事現場の環境配慮		* 化学物質取扱いの注意指導 * 現場までの乗り合い、最短距離の提案 * 資材の搬入時に不要梱包をなくすことを提案	上記2年間	各代理人
* 環境関連法規の遵守状況の確認。			上記1年間	環境管理責任者
* 環境教育の実施・取組状況の確認。			上記1年間	各代理人
* エコアクション21推進委員会 年に4回			4回/年	事務局(佐藤)